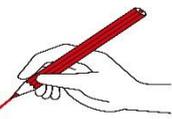


Move Mountains

5年生通信

8月21日56号



○日本の気候の特色 その2

昨日の続きです。

雨温図をもとに、各地の平均気温や年間降水量の特徴を見比べました。

すると、上越（日本海側）の**降水量が圧倒的に多い**ことが分かります。特に11月～2月頃の降水量が多いということは、雪が多いということです。

しかし、私たちが住んでいる愛知県、つまり太平洋側はそこまで降りません。それはなぜでしょうか。

動画を見ながらメモをとり、理由をまとめました。



北西から、しめった冷たい空気が雪を降らせ、山地によって雲の移動が妨げられることが見えてきます。

昨日、今日の学習で

- ・南北に長く伸びていて、気候の差が大きい
- ・季節風によって、日本海側と太平洋側でも異なる

ことが分かりました。

最後に、「教科書や資料集から、他にも気候の特色を調べてごらん」と指示をしました。

すぐにメモを取り始める子がいますが、中には手が止まっている子がいます。教科書の関係ないページをペラペラとめくっている子がいます。この後が大切だと考えます。なぜ

この作業をするのでしょうか。

これは、**テキスト（情報）から必要なものだけを抜き取り、整理する練習**です。

文献に当たり、情報を精査するのは研究や探究の基本姿勢です。その練習になるはずなのです。探究をする学校に通っていて、教科書の情報くらいは簡単にまとめられたいものです。

といった旨の話をしました。

空気が一変します。教科書から情報を探します。しかし、何が情報なのかピンと来ていない子もいるようです。

「梅雨って…」とつぶやく子がいたので、すかさず「それも気候の特色だよね」と言いました。そこから加速します。

「それが情報なのか」と分かったようです。

- ・梅雨は沖縄や太平洋側に多く雨を降らせる
- ・気候が違くと育てる作物も変わる（社会科の見方バッチリ！）
- ・瀬戸内海の辺りは、気候が安定している
- ・山地によって気候が変わることがある

などが出てきました。

さて、気候が違えば生活も変わってきます。・**気候が違くと育てる作物も変わる**と言ってくれた通り、影響を及ぼします。

例えば、台風が多く来る沖縄はその対策をした暮らしをしているはずですが。雪が多く降る地方は、信号機一つに注目しても工夫があります。今後は、視野を広げて、地形や気候が生活にもたらす影響について学んでいきましょう。

次回からの視点は**低い土地**です。

海拔0メートル、場所によっては0メートル以下の地域です。そこには、とある災害との戦いの歴史がありました。

☆お便りフォームはこちら☆

<https://forms.gle/ndGkDHTYcmB1bWyU9>

